

# 発電設備等の情報掲示板について

2018年9月19日

容量市場の在り方等に関する検討会事務局※

- 発電設備等の情報掲示板（以下、「情報掲示板」）については、第12回容量市場検討会にて、広域機関において事業者の具体的なニーズ等を踏まえて検討を進めることとした。
- そこで、情報掲示板の目的等の具体的な内容および広域機関が管理者となる場合の運用開始までのスケジュールについて整理した。

### 3-4. マッチングの掲示板の扱い

25

- 次に、容量市場の導入による事業環境の変化に対して、事業者が多様な電源調達手段を取りうる環境の整備として、下記の仕組みについて整理を行う。
  - ① 販売先未定電源を有する事業者と相対契約を希望する新電力のマッチング
  - ② 電源開発や電源確保を希望する新電力と廃止・休止予定電源を有する事業者のマッチング
- 上記については、電源差し替えの掲示板と類似しているが、容量市場の導入前から実施すること、発電事業者と小売事業者のマッチングも含まれていることが、電源差し替えの掲示板と異なっている。  
(したがって、容量市場のリクワイアメントとして取り決めることはできない)
- 一方、マッチングの掲示板の効果としては、小売電気事業者による多様な電源調達手段による事業環境変化への対応だけでなく、発電事業者による多様な供給先の確保による、電源の退出防止（若しくは単純廃止でなくリプレースの推進）という点においても期待される。

(具体的なニーズのイメージ：事業者の意見を踏まえて引き続き検討を行う)

小売電気事業者 : ① 小規模事業者が相対契約でkW価値を確保するニーズ  
(kW価値だけでなくkWhを確保するニーズも考えられる)

小売電気事業者 : ② 電源確保を考える事業者が単独若しくは一部出資等で電源を確保するニーズ  
発電事業者 : ② 同上

- 上記を踏まえつつ、広域機関において、事業者の具体的なニーズ等を踏まえて、マッチングの掲示板の検討を進めることとしてはどうか。

## ①第21回制度検討作業部会 議事録抜粋

- ・あと、11ページ目のスライドの②番のところでございますが、新電力が結果としてFIT電源を持っているということに関しては、いわゆるコンベンショナルな火力発電というものに関してなかなかそれを保有するというチャンスがなかったということもあろうかと思っておりますので、もしここで②であるような、電源確保を希望する新電力と廃止・休止予定の電源を有する事業者とのマッチングというご提案をいただけるのであれば、ここに関しては制度の充実というか、実現化に関して、ぜひとも検討をお願いしたいと。
- ・11ページの論点3の②に関しましては、非常に大事な論点かと思っております、先ほどイーレックスさんからもありましたように、我々、新電力が競争力のある電源を持とうと思っても、グリッドへのアクセスというのがすごく制約になっておりまして、なかなか競争力のある電源を建てるのが進んでいないというのが現状だと思っております。対象となるのは休廃止予定の発電所であり、もちろんグリッドへのアクセスがあるということですので、そこを休廃止するのであれば、一度、例えば他に新電力を含めて、その土地を有効に活用して、競争力のある電源を建てる人を募る等をルール化していただくと、安易に休廃止しないということに繋がるかもしれませんし、安いコストで新電力がそこに発電所を建てることによって新陳代謝が促されるということにも繋がると思っておりますので、ぜひこの②に関しましては検討を深めていただきたいと思いますと思っております。
- ・今後の設計に当たっては用語の定義を整理し、マッチングについて、事業者のボランティアでやることなのか強制でやるのかという点は、実態に合わせたご検討をお願いしたい。
- ・本日の議論だけで、その過不足がどうなのかということとは決まらないと思っておりますが、事業者としては、赤字の電源を長期にわたって維持していくことは難しいと考えてございまして、本日も電源の休止・廃止を禁じるような措置も検討すべきというご意見もございましたが、一律に禁じるということに関しては賛成できないと考えてございまして。

## ①第21回制度検討作業部会 議事録抜粋

- ・うちにとってはコスト高だから廃止または休止したいという設備に対して、でも別の事業者からしたらまだまだ使えるという場合には、11ページにマッチングという言い方がありますが、これはもう廃止したいとき、または休止したいときには、先に必ずオークションにかけないといけない。そこで誰も価格がつかなかった場合には、廃止・休止ができるとしなければならないのではないかと感じております。
- ・今の11ページの件でございますけれども、相対契約の取引で供給力を確保するということございまして、これは小売事業者の方にとっては激変緩和になりますし、それから発電事業者にとっても発電余力を有効活用できるということから、こういう点では理解ができるのかなと思っています。ただ、この掲示板ということだけではなくて、やはり自由な交渉ということもやらせていただいて、この取り組みが発電事業者の制約にならないように、そういう検討を慎重にしていきたいなと思います。
- ・このような巨額なつかみ金を得られるということを前提としても、なお、まだ自分たちが自由に電源廃止させてほしいという主張が出てくるということ自体がとても脅威だと思います。何でもかんでも制限すればいいと言うつもりはないのですが、これだけ緩い経過措置になったことを踏まえた上で、今後議論すべきだと思います。
- ・私は、11枚目のスライドの電源確保の環境整備ということで、これまでやはり義務的にやると支障が出る可能性があるということでございますけれども、先ほど菅野オブザーバー様からご意見ございましたとおり、なるべく事業者様が自主的、自発的にこのマッチング制度を活用できるような、そういう使いやすい仕組みをぜひご検討いただければと思っております。

## ②第12回容量市場検討会 議事録抜粋

- ・ニーズ①は容量市場導入前のニーズと理解している。容量市場導入後はkW価値を容量市場で取引すると整理されているので、相対契約でkWを確保するということではないと思う。むしろここではkWhを確保するニーズがあり、そのために必要な容量市場で回収出来ない固定費相当額を支払うということになると認識している。
- ・発電事業者として様々な小売電気事業者への相対契約の拡大や市場を積極的に活用して販売拡大していくということが重要で、そのなかの一つの販路として仕組みを整備されるのは我々としてもチャンスだと捉えている。ただ、マッチングの掲示板を具体的にどうやって進めていくのかという具体論になると、懸念しているのは競争上重要な情報が掲載されることであり、重々考慮いただきたい。例えば、もう1つ提起されている差し替え掲示板で考えると、差し替えニーズがある買い手は限定的な事業者であろうと思われるので、広くオープンにするやり方がいいのか、市場管理者に対して差し替えに応じ得る売り手側が電源の情報を提供して、市場管理者から特定の差し替えニーズを有する買い手の事業者へ情報を提供するなど工夫の余地があるのではないか。情報の取り扱いについて、競争上で変な影響を与えないようご留意いただきたい。
- ・その中で一つ依頼であるが、スライド25にあるマッチングの掲示板の扱いについてである。今後、細かく守秘情報をどのように扱うのかも含めて検討いただけるものと考えているが、このようなマッチングサイトを活用することで、電源を保有していない新電力が相対契約によってkW価値を含めた供給力を持っていくことは市場の安定化に非常に重要であると考えため、是非推進していただきたい。
- ・マッチング掲示板については、我々も出来るだけ早期に導入した方が良いと思っており、その上で現在は容量市場のリクワイアメントにできないという事も理解できるが、他方、容量市場が立ち上がった際には、容量市場の参加資格に係るリクワイアメントにすることも含め、是非、意味のある掲示板となるように検討いただければ幸いである。

- 制度検討作業部会および容量市場検討会における情報掲示板に関する意見を踏まえた論点は、以下のとおりと考えられる。

論点1：情報掲示板の目的

論点2：情報掲示板の管理者

論点3：掲載する情報

論点4：情報掲示板の利用者

- 制度検討作業部会および本検討会における意見を踏まえると、情報掲示板の目的は、以下の2点に整理できるのではないかと見られる。
  - ① 容量市場の導入による事業環境の変化に対して、事業者が多様な電源調達手段を取り得る環境を作ること
  - ② 相対契約のない販売先未定電源等（廃止・休止予定電源を含む）の電源を持つ事業者と相対契約を希望する事業者との間で、発電設備等に関する情報提供を可能とすること
- なお、事業者が多様な電源調達手段を取り得る環境の整備という目的を果たすためには、発電設備の情報ができる限り情報掲示板に掲載されることが望ましいが、情報掲示板とは異なる場での交渉を妨げるものではないため、発電設備の掲載判断は、事業者の判断で行うこととしてはどうか。

- 情報掲示板の管理者には、掲載情報に関する取扱いの中立性が求められる。
- 加えて、前頁で整理した情報掲示板の導入目的（容量市場の導入による事業環境の変化に対する環境整備の一環）も踏まえると、容量市場の市場管理者である広域機関が管理者となることとしてはどうか。
- なお、情報掲示板への掲載を契機とする交渉・契約等は当事者間で行うものとし、交渉成立後は掲載事業者が掲載情報を取り下げるものとする。

- 情報掲示板への掲載情報については、できる限り多くの情報を掲載することも考えられるが、発電原価等の、発電事業者にとって競争上の影響を及ぼすものや、発電機出力や電源種別等の、電源が特定されることにより電源立地自治体への対応等に影響を及ぼすものの掲載は、必須とすべきではないと考えられる。
- 上記を踏まえ、情報掲示板に必須で掲載を求める情報に関しては以下のとおり最小限に留め、それ以上の情報については問い合わせ時に当事者間で確認することとし、掲載については事業者の判断に任せることとしてはどうか。
- なお、相対契約や電源調達のニーズは小売電気事業者側にもあるものと考えられるため、小売電気事業者からの相対契約の希望等についても情報掲示板に掲載できることとしてはどうか。

### <掲載項目>

- ✓ 区分（売希望/買希望）
- ✓ 事業者名
- ✓ 問い合わせ先（電話番号、メールアドレス等）
- ✓ 電源所在エリア（一般送配電事業者の管轄エリアとする）
- ✓ 掲載期限（最大1年程度のなかで自由に設定）
- ✓ その他任意掲載欄（事業者の判断による自由記載項目）

- 情報掲示板の利用者については、広域機関の会員以外（小規模な発電所のみを所有する電気供給事業者等）も想定されるため、発電事業者、小売電気事業者およびその他電気供給事業者としてはどうか。
- また、情報掲示板への情報掲載にあたって広域機関からログインID等を発行することで、セキュリティ面の向上および情報の品質確保を図ることとする。

- 発電設備に関する契約の締結までには、関連ルール（送電制約、環境制約等の諸条件の確認等）を踏まえた協議を行う必要がある。
- このため、掲示板を用いた交渉にあたっては、発電設備の置かれた条件について当事者間で十分に確認しなければならないことに留意が必要である。

- 情報掲示板の具体的な内容としては、以下のとおりとはどうか。

	具体的な内容
目的	<p>①容量市場の導入による事業環境の変化に対して、事業者が多様な電源調達手段を取り得る環境を作ること</p> <p>②相対契約のない販売先未定電源等（廃止・休止予定電源を含む）の電源を持つ事業者と相対契約を希望する事業者との間で、発電設備等に関する情報提供を可能とすること</p> <p>なお、発電設備の情報掲示板への掲載判断は、事業者の判断で行うものとする。</p>
管理者	<p>掲載情報に関する取扱いの中立性が求められるため、広域機関が管理者となることとする。</p> <p>なお、情報掲示板を契機とする交渉・契約等は事業者の責任で行うものとする。</p>
掲載情報	<p>情報掲示板に必須で掲載を求める情報に関しては最小限に留め、それ以上の情報については、問い合わせ時に当事者間で確認することとする。</p> <p>なお、小売電気事業者からの相対契約の希望等についても情報掲示板に掲載できることとする。</p> <p>&lt;項目&gt; 売/買区分、事業者名、問い合わせ先、電源所在エリア、掲載期限、その他任意掲載欄</p>
参加者	<p>発電事業者、小売電気事業者、その他電気供給事業者</p> <p>また、掲示板利用希望者には広域機関からログインID等を発行する等により、セキュリティ向上や掲示板情報の品質確保を図る。</p>
その他留意事項	<p>発電設備に関する契約の締結までには、関連ルール（送電制約、環境制約等の諸条件の確認等）等、発電設備の置かれた条件について当事者間での十分な確認が必要である。</p>

- システム開発については、事前に実施した仮見積りを踏まえ、約6か月（入札～発注:約2か月、開発～検収:約4か月）と想定。
- 情報掲示板立ち上げのためには、広域機関の業務規程等のルール改正が必要となるが、2019年3月の通常総会を経て、2019年4月認可・運用開始を目指すこととしたい。
- 上記を考慮すると最速で2019年4月の運用開始となる予定であり、事業者準備期間として約1年間の期間確保が可能。

## 【情報掲示板開設までのスケジュール（案）】

